

F-37 家庭における日常の食生活プランに関する主婦の意識調査

比治山女短大 下東艶子

目的 私は昨年と本年の二回にわたり、家庭の主婦の管理能力の調査を実施したが、二回とも、Plan(計画化)を分析した10項目のうち、予定表作成……例へば献立表……は最低評価であった。そこで、私は今回、その理由について調査し、あわせて、献立表を作成しなくても、日常、食生活の経営が維持されていく背景になる意識の実態を調査し、検討を試みた。

方法 広島市消費者協会の協力により、市内35町内に、アンケート用紙を配布し、回収した。対象は広島市内の家庭の主婦で、回答者は約500名である。

結果 献立表を作成しない理由の主なものは、ひまが無い、めんどうだ、物の値段が日々変わる、慣れて必要がない、備食などである。次に、一般の主婦の食生活Planに関連する意識調査で、かなりよい評価を示した項目を挙げると次のようである。1)栄養の充足や均衡を第一に考える、2)毎日の食事に変化を加える、3)食費は十分にとる、4)調理の手間を惜しまない、5)よい店を選んで買出しある、6)漬物は自家製とする、7)牛乳や乳製品をかなり用いる、8)果物を菓子より優先する、9)家族の嗜好を考える、10)野菜を毎日生食する……など。テレビ料理の応用や、テレホンサービスの利用は、ほとんど無く、献立表は作らずに、店頭に臨み、並んだ食品を見て、格安で、良質のものを選択購入するという習慣が多い。経験による生活の智慧で、即席献立が可能であるが、この豊かな知識をPlanとして予めまとめるならば、よりよい食生活の経営が労少なく、効果よく望まれるのではあるまいか。